

成木の砧勝ち (佐藤氏撮)



穂木デラウエア、砧木イブレットフラン

第五表 穂木を異にした砧負けの差

穂品種	砧木品種	樹齡	穂の太さ(周厘)	砧木の太さ(周厘)	比率	振り	収量
甲州A	五C	三年	一・三六	一・三	八六%	五	一〇〇
甲州B	五C	三年	〇・九	一・三	六六%	三	一〇〇
ネオマスカットA	五C	三年	一・八	一・三	五五%	三	一〇〇
ネオマスカットB	五C	三年	一・五	一・三	五〇%	三	一〇〇

(土屋氏)

註 砧木穂木の太さは接合部上下七厘の所と接合部に最初から凹凸が生じてしまう。

更に温床育苗において水分過剰と高温に原因して癒合組織が出過ぎて接合部を包み、これを定植するとやがて癒合組織がそのまゝ硬化して症状を呈し幼木中より砧と穂が順調でないといふ砧勝ち砧負けとなるから苗木の入手に際しては注意すべき点である。

成木における穂木品種と砧木品種の組合せについて筆者は成績を持たないから報告を避けるが定植後三年生について参考までに示すと第四表の通りである。しかしこの表の砧勝ち砧負けは傾向を示す程度であ

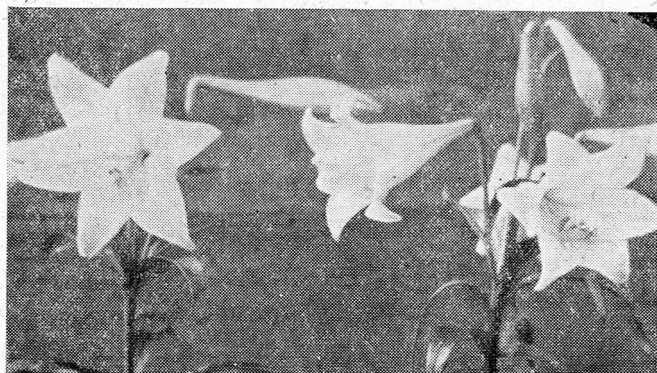
つて著しい場合は見当らない。今後の樹齡の進行と共に如何ように変化するか不明である。

山梨県における土屋氏は五C砧に接がれた甲州及びネオマスカットの組合せについて第五表のような報告をしている。いい換えると同一砧木においても穂木品種の組合せによつては砧負けの程度に大きな差があることを示している。この表によ

ると砧木の太さが穂木の太さの約半分の砧負け状態であつても反当六五〇貫以上の

の収量が得られている勘定になるから砧負けは敢て問題にならないようにも考えられる。しかしネオマスカットや甲州種のように若木時代に特に生長力の旺盛な品種には幼木時代の砧負けは寧ろ栄養生長を抑え、かえつて収量の増加品質の向上などに好結果が現われているかも知れない。その後、年齢進行と共に樹勢や収量に如何に影響して来るかが問題である。要するに現在の試験段階の結果としては、なるべく砧負けや砧勝ちのしない組合せを選ぶことが無難ではなからうか。(北海道立農試・技官)

夏から秋にかけて球根を畑へ植込み、翌春から夏にかけて咲かせようとするのが秋植え球根とよばれる種類です。この球根を植込む時期は種類によつて多少の早い遅いがありますが、原則としては植込んでから冬になる以前にある程度根を伸ばしてしまふ余裕を与える必要がありますから、地温が



秋植球根の植込

明道博

一斉に葉や茎を伸ばし花を咲かせることになりませう。
秋植球根の種類
以上の様な性質をもつた球根類にはどんなものがあるかを知るために次に主な種類と若干の性質とを表記してみましよう。
植込畑の準備

球根を植込む畑は春から夏までなるべく日当りのよいところで、やや軽い、水排けのよいところを選びませう。

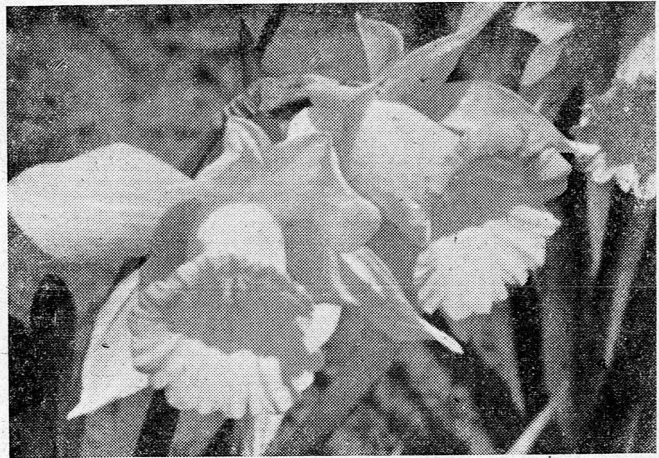
土中の石ころやその他の大きな混りものはいいねいに取り除いてやりませう。でないといふとこれらに妨げられて主芽が地上へ発芽出来ない場合、側芽によつて発芽するというとは殆どなく従つて発芽不能になるからです。次に畑は十分深く耕してやりませう。秋植球根の根は深く長く伸びるものが多いので、チュールリップなどは三尺位は平気で伸びますがこれではじめてよい生育をするものでありますから、土は少なくとも深さ一尺は耕すようにします。

次に施肥はまず十分な堆肥を与えること、濃厚肥料は一旦肥料土として醗酵させ、そのものを与えるか、そうでないときは球根に直接肥料が触れないよう、深く肥料を施

深さ等を決めてかからなければなりません。これは種類により、また栽培の目的、即ち球根増殖を目的とするか、切花用の栽培か、花壇用としての観賞目的かによつて異なる訳であります。一般には切花用、花壇用は球根生産の場合よりも株間を小さくします。次に掲げる標準は球根生産の場合として参考にしていただきます。また植込む球根は成球の場合であります。

以上のように種類によつて植込の深さがちがいますが、植込み畑の土質により、軽い土や乾燥し易い土地では標準よりやや深くし、重い土や湿りの強い土地ではやや浅くするというのが普通であります。植込みが浅過ぎますと地上部の生育が早目に切り上り全体の生育量が不足し勝ちであるが、分球率は高まるのが普通であります。逆に深過ぎる場合は生育が遅滞し、かつ重粘地では発芽困難な場合も生じて来て矢張り具合がわるいものであります。一般に秋植球根は根が十分長く伸長して、冷涼な深層か

ら常に水分を吸収し得る限りにおいて浅植える場合によい生育を示すものであります。



大ラッパすいせんの品種、ホワイトクイン (純白色)

寸として一条植えとする場合もあります。球根には発芽すべき芽の位置が定まっていますから、これを必ず真直ぐ上方に向けて所定の深さに植込むことが必要で側方や逆に下方を向けて植込むことは決してよい結果を見ないものであります。一条植えの場合には畑に作条してこの中に球をな

ますから、これを必ず真直ぐ上方に向けて所定の深さに植込むことが必要で側方や逆に下方を向けて植込むことは決してよい結果を見ないものであります。一条植えの場合には畑に作条してこの中に球をな



ヒアシンスの品種、クインオブザピンクス (濃桃色)

強く植穴に押しつけてやる必要がありません。

秋植球根は殆どすべての種類が翌春まで地上へは発芽して来ません。それで数種類が植込まれた畑の床には種類、品種、大きさの異なる球が植込まれた場合は球のサイズなどを示す立札を必ず立てておくべきであります。単に記憶だけで覚えてい

す。

植込みは花壇用あるいは切花用の場合には別として普通方形の床植えとします。草丈の高いかのこゆりやおにゆりなどではこの床植えの他に一尺五寸の条間をもたせ株間五

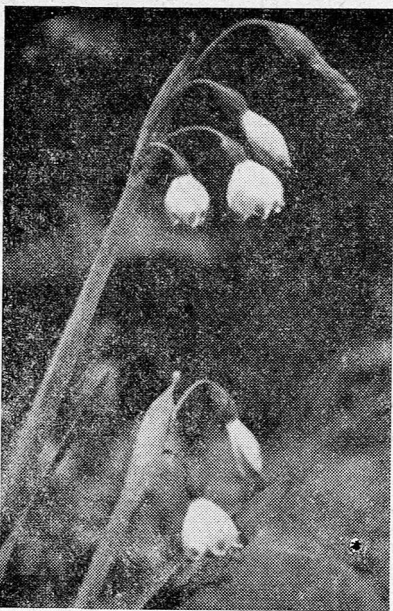
らべた後覆土するという方法をとります。一般の床植えでは床幅三〜四尺として床間を一尺とりここを通路とします。床面を丁寧に整地して通路にかがみながら床の両方から手を差しおのべつ植込んでゆきます。即ち片方の手に移植鏝をにぎり、これで植穴をあけながら、他の片手に球根をつかまえてこの穴の中に入れて後土を返して穴を埋めるようにします。この場合植穴の底の方で球根の底部に接する部分が空いているのは後の発根を不良にする原因となりますからこのようなことがないように、球は

はいろいろの不都合を来すものです。

植込後の管理

植込後越冬までには普通特別の管理を必要としませんが、ただ除草は必要に応じ遅滞なく励行します。これは翌春の除草を容易にする所以であり、ひいては病害の蔓延を防ぐことにもなります。次に積雪少なく、土地の凍結がかなりはげしいところでは、枯葉や敷藁などにより床面を被覆してやります。これはグッチアイリス、ゆり類などではとくに必要であります。

(北大農学部園芸学教室、助教授)



スノーフレーク (すずらんすいせん) (白色)